

第1回 北極海航路に係る官民連携協議会 議事要旨

【開催概要】

日時：平成26年5月30日（金）10:15～12:00

場所：中央合同庁舎3号館 10階 共用会議室A

【議事概要】

1. 開会

2. 関係省庁からの情報提供

3. 参加企業等との意見交換

- 北極海航路については関心を持っており、今回このような官民の関係者が一堂に会する会議が開催されたことは非常に有意義である。今回の会議で提供して頂いた情報は貴重であり、今後も北極海航路に関する不明点等があれば相談させて頂きたい。
- 一般的に、北極海航路の最新情報を得るためには、実際にキーマンと会って話すことが重要である。
- これまで、北極海航路についての知見をあまり持ち合わせていなかったが、本日協議会に参加したことで、北極海航路の利用については今後検討を進める意義があるのではないかとの感触を得た。
- エネルギー調達先の選択肢を拡大することは重要であると考えており、その観点で北極海航路に関心を持っている。
- エネルギー調達の検討を行うに当たり、経済性、リードタイムという観点が必要であり、北極海航路について情報を共有して頂けることは非常に貴重であると考えている。
- 現在では、北極海航路を利用した需要はスポット需要しかない。
- 今後定常的に北極海航路利用の需要が出てくれば、海運会社の運航実績も多くなり、保険料や海上運賃についても一定の範囲内に落ち着いてくるものと考えられるので、これから注目していきたい。
- 北極海航路については、商業航路としての法的透明性を確立していくことが重要であると考えている。
- 北極海航路について、実際に自分達で北極海航路を運航することは、正確な情報把握を行う上で有効であると考えられることから、検討を進めることが望ましいのではないか。
- 北極海航路については、航路として有効であるという報告がある一方、ロシアというカントリーリスクも存在している。カントリーリスクに対して財界、国、またはアジアのユーザー国全体として対抗していくことも必要であろう。

4. 閉会

<以上>